

社保・国保審査委員連絡委員会

と き 平成 30 年 2 月 1 日 (木) 15:00 ~

ところ 山口県医師会 6 階会議室

報告：常任理事 萬 忠雄
理 事 清水 暢

協 議

1 抗アレルギー薬の併用投与について

〔支払基金〕

抗アレルギー薬（内服薬）の併用投与について、審査取扱いを協議願いたい。

原則、2 剤併用までは注記なしで認める。3 剤以上の併用を必要とする場合は、注記内容により審査委員会の判断となる。

2 MAC（マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセラー）核酸検出の審査取扱いについて〔支払基金〕

MAC は通知上、「他の検査により結核菌が陰性であることが確認された場合のみに算定できる。」となっているが、以前（約 6 か月以内）、結核菌が陰性であることがすでに確認できている場合で

あっても、毎回、結核の PCR（結核菌群核酸検出）を行う必要があるか。

〔関連記事〕「山口県医師会報」

平成 20 年 8 月号・社保国保審査委員連絡委員会

既に非結核性抗酸菌症（MAC）の治療中であることがレセプト上で確認できる場合は、再度の結核菌検査及び結核菌が陰性であった旨の注記は必要とせず、MAC 核酸検査の算定を認める。

3 L 型脂肪酸結合蛋白（L-FABP）（尿）について〔支払基金〕

L 型脂肪酸結合蛋白（L-FABP）（尿）は、糖尿病性腎症の早期診断に有用であり、「原則として 3 月に 1 回に限り算定する。」となっている。糖尿病性腎症の早期診断には他に、トランスフェリン（尿）、アルブミン定量（尿）等が用いられて

出席者

委員

藤原 淳
小野 弘子
山下 哲男
西村 公一
城戸 研二
矢賀 健
藤井 崇史
赤司 和彦
田中 裕子
久我 貴之

委員

土井 一輝
松谷 朗
浴村 正治
上野 安孝
村上不二夫
成松 昭夫
新田 豊

県医師会

会 長 河村 康明
副 会 長 濱本 史明
専務理事 林 弘人
常任理事 萬 忠雄
理 事 清水 暢
理 事 前川 恭子

おり、これらと L-FABP との併施を認めるか。

【参考】(留意事項通知)

トランスフェリン(尿)、アルブミン定量(尿)及びⅣ型コラーゲン(尿)は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第 1 期又は第 2 期のものに限る。)に対して行った場合に、3 月に 1 回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。

併算定は認めない。

4 RF(リウマトイド)因子の算定について

〔国保連合会〕

活動性滑膜炎の存在の判定には有用ではない RF 因子の連月又は隔月の算定を、RA 確定患者において認めるか。

RA 確定患者に対しては算定頻度に留意が必要である(連月、隔月等は認められない)。

※以上の新たに合意されたものについては、平成 30 年 4 月診療分から適用する。

『会員の声』原稿募集

投稿規程(平成 27 年 5 月から)

- 1) 投稿は本会会員に限ります。
- 2) 内容につきましては、医療・医学に関連するものに限定させていただきます。
- 3) 他誌に未発表のものに限ります。
- 4) 同一会員の掲載は、原則、年 3 回以内とさせていただきます。
- 5) 字数は 1,500 字程度で、文章には必ずタイトルを付けてください。
- 6) 外国語単語の使用は認めますが、全文外国語の場合は掲載できません。
- 7) 学術論文については、その専門的評価が問題となる場合があるため、掲載できません。(『山口県医学会誌』への投稿をお願いします。)
- 8) ペンネームでの投稿は不可とさせていただきます。
- 9) 送付方法は電子メール又は CD-R、USB メモリ等による郵送(プリントアウトした原稿も添えてください)をお願いします。
- 10) 編集方針によって誤字、脱字の訂正や句読点の挿入等を行う場合があります。また、送り仮名、数字等に手を加えさせていただくことがありますので、ある意図をもって書かれている場合は、その旨を添え書きください。
- 11) 原稿の採用につきましては、原稿をいただいた日の翌月に開催する広報委員会で検討させていただきますが、内容によっては、掲載できない場合があります。

山口県医師会事務局 広報・情報課

〒753-0814 山口市古敷下東 3-1-1 山口県総合保健会館 5 階

TEL: 083-922-2510 FAX: 083-922-2527

E-mail: kaihou@yamaguchi.med.or.jp